

資料1：アンケート用紙 キャリア教育に関する調査(学級担任用)

群馬県総合教育センターでは、今後の学校教育のあり方を検討するため、いくつかの調査研究を進めています。本調査は、今日的な教育課題の一つとして注目されている「キャリア教育」を推進するために行うものです。お答えいただいた内容につきましては、先生方や学校にご迷惑をおかけすることはありません。調査目的以外での使用はしません。なお、結果は研究報告書にまとめ公開させていただきます。ご多用中、大変恐縮ではございますが、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○：空白マーク

●：正しいぬりつぶし

◐：不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの担当学年を教えてください

○ 1年生

○ 2年生

○ 3年生

○ 4年生

○ 5年生

○ 6年生

(2) あなたの考えやクラスの子どもの実態についてお伺いします。以下の各項目について、あなたは「(A)どのくらい重要だと思うか」と、「(B)実現できていると思うか」をお答えください。

(A)と(B)の両方の該当する箇所(各項目1カ所ずつ)を塗りつぶしてください

		(A) 重要度				(B) 実現度			
		大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よく出ている	大体出ている	あまり出ない	出ていない
1	小学校でキャリア教育を進めていくこと	○	○	○	○	○	○	○	○
2	豊かな人間性育成のためキャリア教育を進めること	○	○	○	○	○	○	○	○
3	(以下、設問16までクラスの児童についてお答えください) 児童が児童自身のよいところを見つけること	○	○	○	○	○	○	○	○
4	児童が児童自身の欠点に気付くこと	○	○	○	○	○	○	○	○
5	友達のよいところを認め励ますこと	○	○	○	○	○	○	○	○
6	話合いに積極的に参加すること	○	○	○	○	○	○	○	○
7	違う意見も理解しようとする	○	○	○	○	○	○	○	○
8	生活を支えている人に感謝すること	○	○	○	○	○	○	○	○
9	意見や気持ちをわかりやすく話すこと	○	○	○	○	○	○	○	○
10	友達の気持ちや考えを理解しようとする	○	○	○	○	○	○	○	○
11	思いやりの気持ちをもって行動しようとする	○	○	○	○	○	○	○	○
12	友達と協力して、学習や活動などに取り組むこと	○	○	○	○	○	○	○	○
13	縦割り(異学年集団)の活動に進んで取り組み、役割を果たそうとする	○	○	○	○	○	○	○	○
14	両親や先生以外の大人と話をすること	○	○	○	○	○	○	○	○
15	将来の仕事や夢について考えること	○	○	○	○	○	○	○	○
16	将来の夢や仕事について家の人と話をすること	○	○	○	○	○	○	○	○

- (3) キャリア教育に視点を当てた道徳の授業を行う上で、以下の各項目について、あなたは「(A)どのくらい重要だと思うか」と、「(B)実現できていると思うか」をお答えください。
 ((A)と(B)の両方の該当する箇所(各項目1カ所ずつ)を塗りつぶしてください)

【参考資料】

※「キャリア教育の視点」とは、将来の社会的自立・職業的自立を念頭に置きながら、子どもたちの成長や発達を促進する見方を持つことです。小学校の各学年における様々な教育活動を通して、どのような資質や能力、態度を育てていけばよいのかを検討し、キャリア教育のねらいを意図的・計画的に設定していくことが大切になります。

※小学校におけるキャリア教育の目標

- ・自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- ・身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成

上の※の文は「自分に気付き、未来を築くキャリア教育 小学校におけるキャリア教育推進のために」(国立教育政策研究所 平成21年3月発行)より引用したものです。

		(A) 重要度				(B) 実現度			
		大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よく取り組んでいる	だいたい取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
1	道徳の全体計画や年間指導計画をキャリア教育の視点から見直すこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	児童が現実を意識できる工夫をすること(外部人材、ビデオ、写真等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	小グループや全体での話し合いの時間を設定し、意見や考えの違いを理解させること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	学校行事や体験活動と関連のある道徳の授業を事前または事後に行い、日常的な意識化につなげること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	家庭や地域での体験活動(例・お手伝い、廃品回収)に関連ある道徳の授業を行い、道徳的価値として捉えさせること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	伝記や現在活躍している人を資料として扱い、生き方について考えさせること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	道徳の授業の内容を家庭に知らせ連携を図ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	人とかかわりや自分を見つめる時間を位置づけた道徳の時間の授業プログラムを作成し活動内容を工夫すること(役割演技や構成的グループエンカウンターなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	教科の学習や教育活動等の関連を意識しながら道徳の授業を行うこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- (4) 道徳の授業でキャリア教育と関連づけて指導している内容項目(予定も含む)に印をつけてください。(実施した項目・予定している項目すべてに印をつけてください)

- | | | |
|--|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 節度ある生活態度 | <input type="radio"/> 勤勉・努力(不とう不屈) | <input type="radio"/> 正しい判断・勇気 |
| <input type="radio"/> 正直・明朗 | <input type="radio"/> 個性の伸長(3年生以上) | <input type="radio"/> 礼儀 |
| <input type="radio"/> 思いやり・親切 | <input type="radio"/> 信頼・友情・ | <input type="radio"/> 謙虚・寛容(5年生以上) |
| <input type="radio"/> 尊敬・感謝 | <input type="radio"/> 生命尊重 | <input type="radio"/> 規則の尊重・公德心 |
| <input type="radio"/> 勤労・(社会奉仕) | <input type="radio"/> 家族愛 | <input type="radio"/> 愛校心 |
| <input type="radio"/> 社会的役割の自覚と責任(5年生以上) | <input type="radio"/> その他() | <input type="radio"/> なし(予定もない) |

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

—資料2—

キャリア教育に関する調査(5年生児童用)

あなたのふだんの生活に関して、あなたの考えをお聞かせください。

回答は、えらんだマーク○をえんぴつでこくぬりつぶして答えてください。

○ : 空白マーク

● : 正しいぬりつぶし

○✓ : 不十分なぬりつぶし

きじゅつ式の回答は、回答らんからはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械でしょ理します。回答らん以外に書きこみをしたり、用紙をよごしたり、おり目を付けたりしないように注意してください。

- (1) あなた自身についてお聞きします。以下の各こうもくについて、お答えください。(各こうもく、1つずつマークしてください)

		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1	自分のよいところを見つけること	○	○	○	○
2	自分の欠点に気付くこと	○	○	○	○
3	友達のよいところをみとめはげますこと	○	○	○	○
4	話し合いなどにせっきよくてきに参加すること	○	○	○	○
5	話し合いで自分とちがう意見も理解しようとする	○	○	○	○
6	自分の生活を支えている人に感しゃすること	○	○	○	○
7	自分の意見や気持ちをわかりやすく話すこと	○	○	○	○
8	友達の気持ちや考えを理かいしようとする	○	○	○	○
9	思いやりの気持ちを持って行動しようとする	○	○	○	○
10	友達と協力して、学習や活動に取り組む	○	○	○	○
11	たてわり(いねんれい集団)の活動に進んで取り組み、役わりを果たそうとする	○	○	○	○
12	両親や先生以外の大人と話をすること	○	○	○	○
13	自分のしょうらいの仕事やゆめについて考える	○	○	○	○
14	自分のしょうらいの仕事やゆめについて家の人と話をすること	○	○	○	○

- (2) しょうらいつきたい仕事やゆめがありますか。どちらかにマークしてください。

○ ある

○ ない

- (3) しょうらいつきたい仕事やゆめをどのようにして知りましたか(あてはまるものはすべてマークしてください)

○ 親の仕事

○ 親にすすめられて

○ テレビ、えいが、本、まんが

○ 社会科見学

○ その仕事をじっさいに見て

○ 習い事

○ 先生の話や学校の授業(教科)

○ 友達の話

○ その他 ()

(4) しょうらいの仕事を決めるときどんなことを中心に考えていますか（あてはまるものはすべてマークしてください）

- 自分のこせいやのうりょくが生かせること
- 自分のやりたい仕事であること
- きゅうりょうが高いこと
- 人や社会の役に立つこと
- 人や社会からそんけいされること
- 休みが多いこと
- その他()

(5) あなたが、1番なりたい しょく業を書いてください。

(6) 以下のこうもくについて、どんな時に特にそう思うか教えてください。（各こうもく、1つずつマークしてください）

		自分で同じよ うな体験をし て成功した時	自分で同じよ うな体験をし て失敗した時	友達が同じよ うな体験をし たのを見た時	テレビで同じ ような体験の 場面を見た時	道とくの時間 で勉強した時
1	より高いもくひょうを立て、努力しよう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	明るくまじめに生活しよう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	自分の悪い所をあらため、よい所をのばそう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	だれに対しても、親切にしよう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	男女仲良く協力し、助け合おう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	自分とことなる意見や立場を大切にしよう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	自分をささえてくれる人にかんしゃしよう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	生命あるものを大切にしよう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	自分の役わりのせきにんをはたそう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	進んでみんなのためにはたらこう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(7) 道とくの時間について教えてください。（各こうもく、1つずつマークしてください）

		とても好き	好き	あまり好 きではない	きらい
1	読み物しりょうのほかにもゲストティチャーの話やビデオ・写真を見ること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	話合いを通して友達との意見や考えのちがいを知ること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	体験したことと関係のある内容を道とくの時間に考えること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	伝記や今、かつやくしている人の話を読み、生き方について考えること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	役わりえんぎなどをしながら自分や相手の気持ちを考えること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

以上でアンケートはおわりです。ごきょう力ありがとうございました。

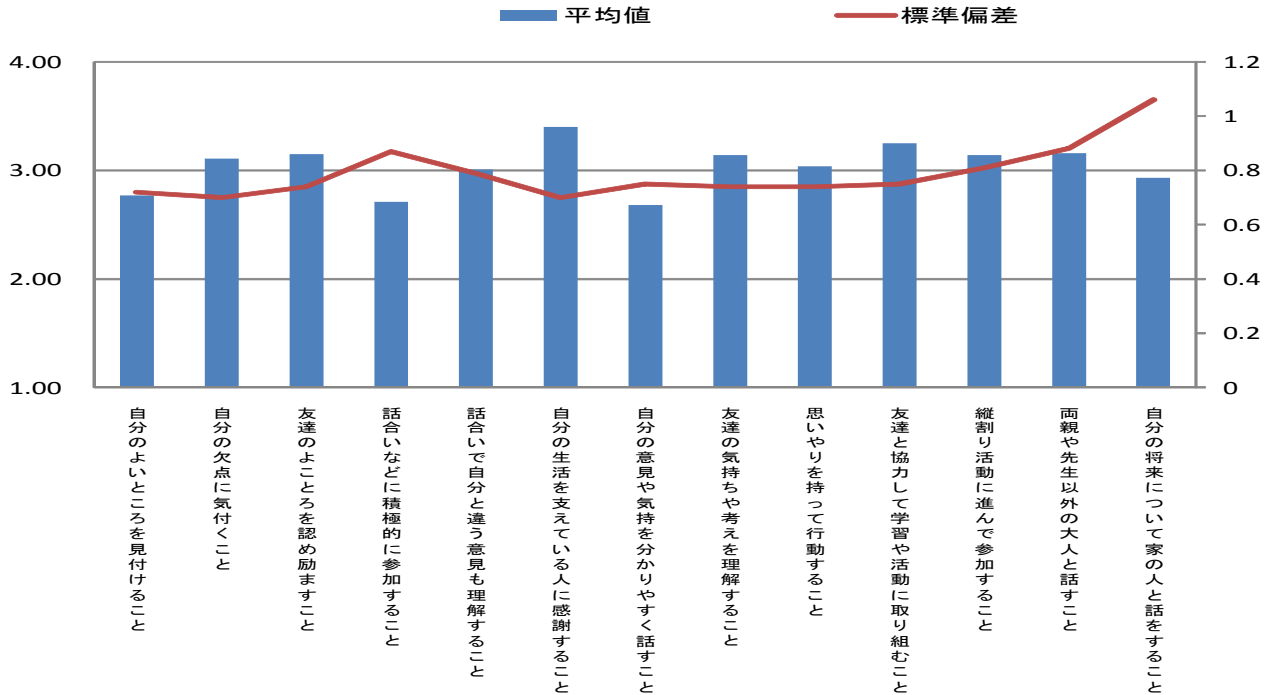
－資料4－

資料 2

調査結果

I キャリア発達《人間関係形成能力》について

(1) 児童の意識（児童アンケート） 平均値・標準偏差



(2) 児童の意識（児童アンケート） 相関分析

相関分析(児童)	よいところを見付ける	欠点に気付く	友達を認め励ます	話し合いに積極的	意見も理解	感謝	わかりやすく話す	友達の気持ちや意見を理解	思いやり	友達と協力	縦割りに進んで参加	両親や先生以外の大人と話す	将来について考える	将来について家の人と話す
よいところを見付ける	1													
欠点に気付く	0.356	1												
友達を認め励ます	0.346	0.305	1											
話し合いに積極的	0.347	0.267	0.290	1										
話し合いで違う意見も理解	0.300	0.329	0.318	0.374	1									
感謝	0.283	0.260	0.375	0.220	0.313	1								
わかりやすく話す	0.365	0.271	0.338	0.478	0.369	0.273	1							
友達の気持ちや意見を理解	0.335	0.295	0.458	0.275	0.422	0.351	0.378	1						
思いやり	0.375	0.296	0.459	0.270	0.351	0.382	0.372	0.526	1					
友達と協力	0.376	0.311	0.386	0.386	0.399	0.350	0.386	0.449	0.453	1				
縦割りに進んで参加	0.333	0.221	0.274	0.352	0.359	0.246	0.334	0.324	0.320	0.405	1			
両親や先生以外の大人と話す	0.226	0.213	0.258	0.243	0.208	0.208	0.230	0.190	0.216	0.241	0.289	1		
将来について考える	0.324	0.245	0.235	0.202	0.230	0.260	0.245	0.229	0.229	0.253	0.229	0.304	1	
将来について家の人と話す	0.264	0.219	0.231	0.214	0.203	0.299	0.231	0.202	0.243	0.252	0.199	0.297	0.604	1

(3) 将来就きたい仕事や夢の有無と人間関係形成能力とのクロス集計（児童アンケート）

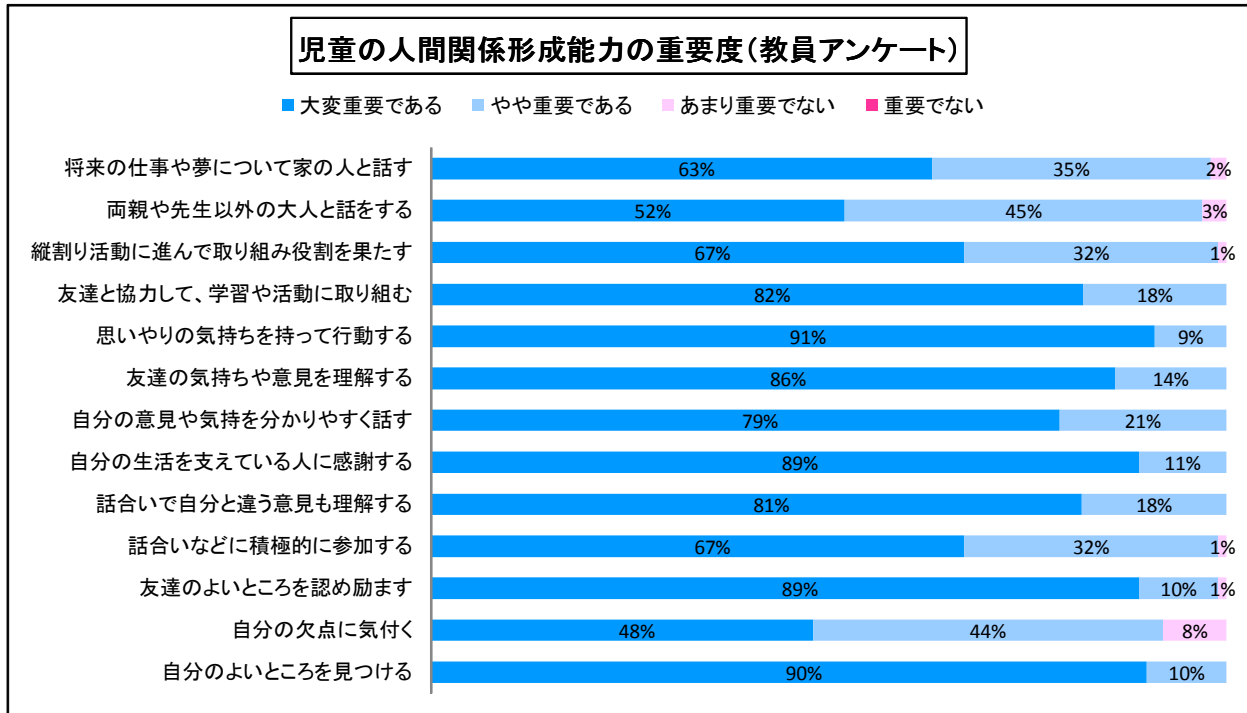
【将来就きたい仕事や夢がある児童】

質問	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	χ^2 値
①自分のよいところを見つけること	167▲**	597▲**	284▽**	26▽**	64.86
②自分の欠点に気付くこと	333▲**	589	136▽**	15▽**	30.46
③友達とのよいところを認め励ますこと	386▲**	521	149▽**	18	18.44
④話合いなどに積極的に参加すること	225▲**	433	348▽*	68▽**	22.36
⑤話合いなどで自分と違う意見も理解しようとする	330▲**	505	201▽*	38	20.09
⑥自分を支えている人に感謝すること	579▲**	403	83▽**	9▽*	29.30
⑦自分の意見や気持ちをわかりやすく話すこと	147	531▲**	354▽**	42▽*	26.05
⑧友達の気持ちや考えを理解しようとする	378▲**	535	134▽**	27	17.20
⑨思いやりの気持ちを持って行動しようとする	324▲**	542	185▽**	23	32.54
⑩友達と協力して学習や活動に取り組むこと	471▲**	464	120▽**	18▽*	24.42
⑪縦割り活動に進んで取り組み役割を果たそうとする	428▲**	441	178▽**	27	17.14
⑫両親や先生以外の大人と話すこと	509▲**	348	180▽**	36▽**	50.27
⑬自分の将来の仕事や夢について考えること	668▲**	294	86▽**	26▽**	374.46
⑭自分の将来の仕事や夢について家の人と話をすること	494▲**	291▲*	197▽**	92▽**	199.12

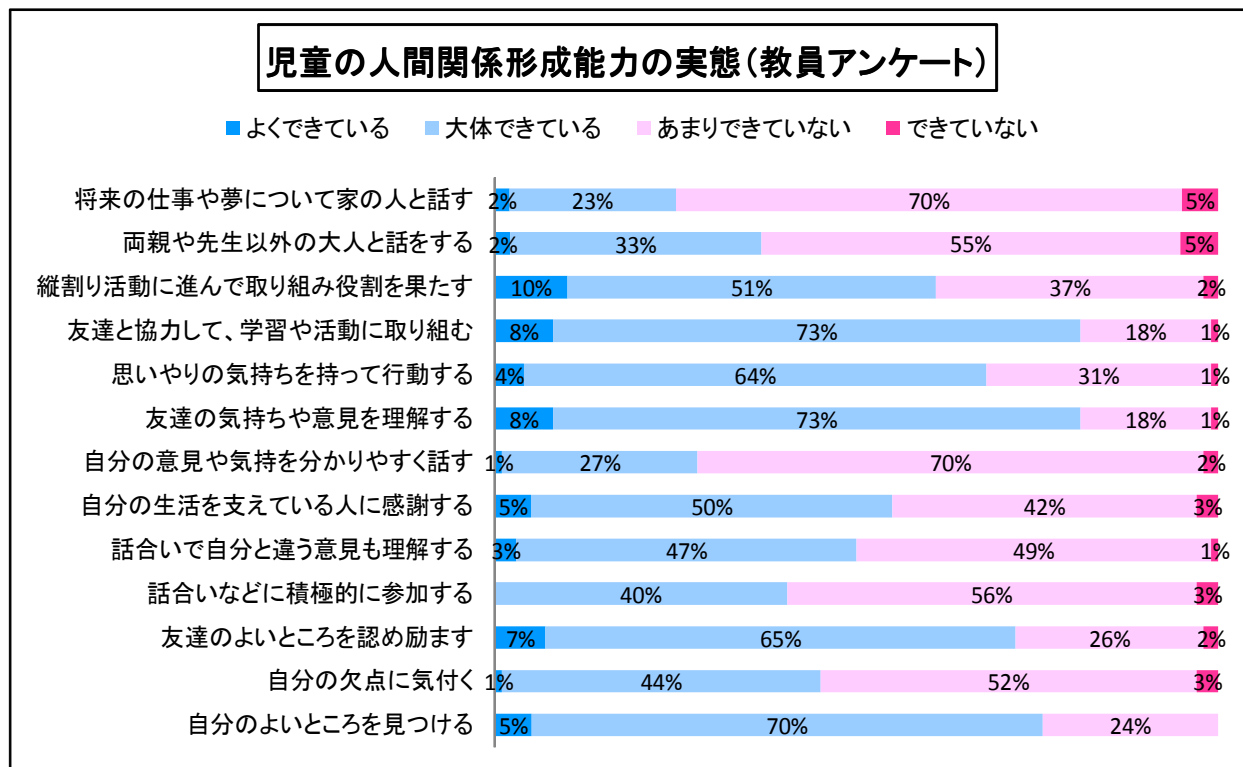
【将来就きたい仕事や夢がない児童】

質問	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	χ^2 値
①自分のよいところを見つけること	10▽**	82▽**	88▲**	20▲**	64.86
②自分の欠点に気付くこと	33▽**	117	40▲**	10▲**	30.46
③友達とのよいところを認め励ますこと	46▽**	103	46▲**	5	18.44
④話合いなどに積極的に参加すること	25▽**	68	80▲*	27▲**	22.36
⑤話合いなどで自分と違う意見も理解しようとする	31▽**	109	50▲*	10	20.09
⑥自分を支えている人に感謝すること	76▽**	84	34▲**	5▲*	29.30
⑦自分の意見や気持ちをわかりやすく話すこと	18	70▽**	96▲**	15▲*	26.05
⑧友達の気持ちや考えを理解しようとする	44▽**	109	40▲**	7	17.20
⑨思いやりの気持ちを持って行動しようとする	24▽**	114	55▲**	7	32.54
⑩友達と協力して学習や活動に取り組むこと	58▽**	94	40▲**	8▲*	24.42
⑪縦割り活動に進んで取り組み役割を果たそうとする	58▽**	80	52▲**	10	17.14
⑫両親や先生以外の大人と話すこと	50▽**	70	62▲**	18▲**	50.27
⑬自分の将来の仕事や夢について考えること	22▽**	43	88▲**	47▲**	374.46
⑭自分の将来の仕事や夢について家の人と話をすること	11▽**	40▽*	80▲**	69▲**	199.12

(4) 児童の人間関係形成能力の重要度 (教員アンケート)



(5) 教員が捉える児童の実態 (教員アンケート)

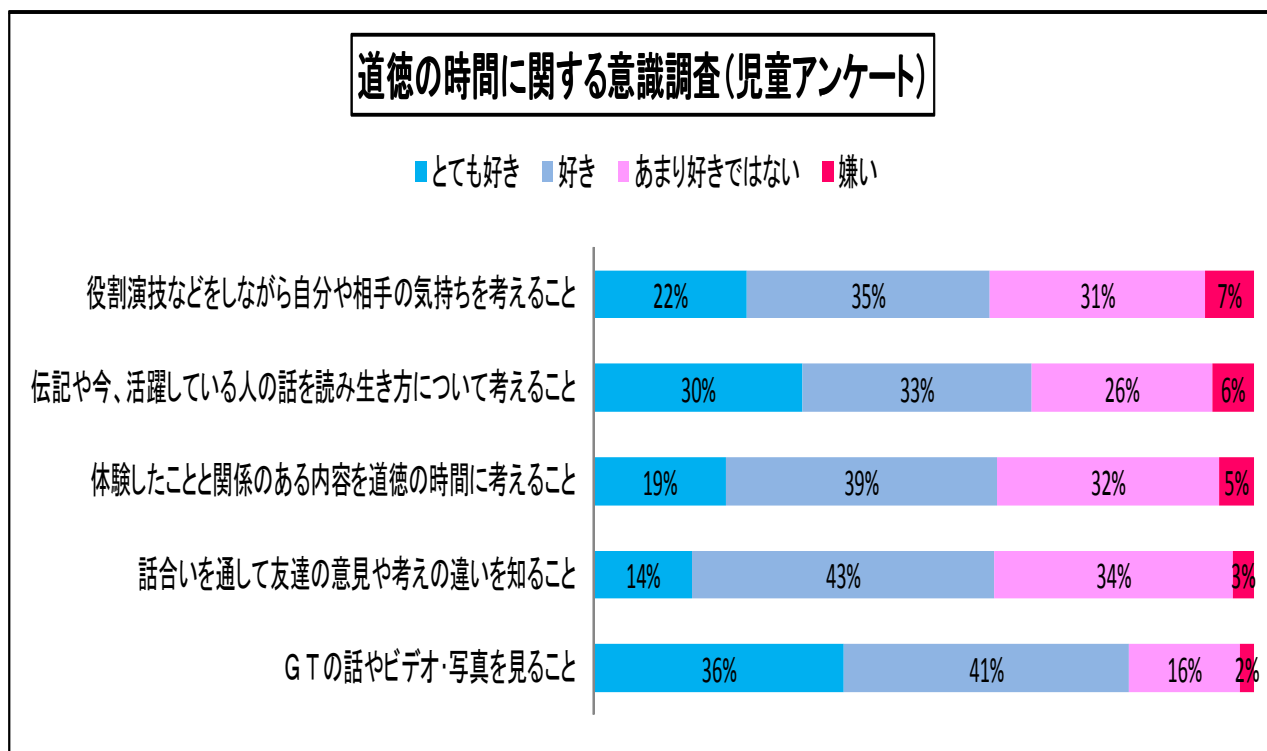


(6) 教員のキャリア教育に対する意識・教員が捉える児童の実態 (教員アンケート)

相関分析(教員)	キャリア教育の推進	豊かな人間性のためキャリア教育	よいところを見つける	欠点に気付く	友達を認め励ます	話合いに積極的	話合いで違う意見も理解	感謝	わかりやすく話す	友達の気持ちや意見を理解	思いやり	友達と協力	縦割りに進んで参加	両親や先生以外の大人と話す	将来について考える	将来について家の人と話す
キャリア教育の推進	1															
豊かな人間性のためキャリア教育	0.763	1														
よいところを見つける	0.280	0.299	1													
欠点に気付く	0.211	0.201	0.198	1												
友達を認め励ます	0.179	0.214	0.350	0.360	1											
話合いに積極的	0.134	0.204	0.247	0.271	0.392	1										
話合いで違う意見も理解	0.216	0.209	0.269	0.290	0.389	0.387	1									
感謝	0.150	0.270	0.194	0.206	0.338	0.300	0.243	1								
わかりやすく話す	0.200	0.231	0.222	0.262	0.318	0.468	0.397	0.372	1							
友達の気持ちや意見を理解	0.179	0.255	0.272	0.281	0.446	0.424	0.523	0.346	0.397	1						
思いやり	0.204	0.256	0.301	0.296	0.469	0.377	0.429	0.404	0.361	0.577	1					
友達と協力	0.156	0.174	0.253	0.259	0.453	0.345	0.367	0.318	0.401	0.453	0.444	1				
縦割りに進んで参加	0.208	0.256	0.248	0.263	0.317	0.240	0.259	0.245	0.262	0.216	0.250	0.289	1			
両親や先生以外の大人と話す	0.280	0.272	0.172	0.277	0.199	0.261	0.242	0.225	0.327	0.274	0.199	0.230	0.366	1		
将来について考える	0.379	0.338	0.284	0.207	0.320	0.284	0.282	0.287	0.272	0.305	0.278	0.247	0.329	0.273	1	
将来について家の人と話す	0.293	0.272	0.139	0.228	0.221	0.191	0.184	0.279	0.199	0.200	0.203	0.156	0.329	0.339	0.605	1

II キャリア教育の視点を取り入れた道徳の時間について

(1) 児童の意識調査 (児童アンケート)

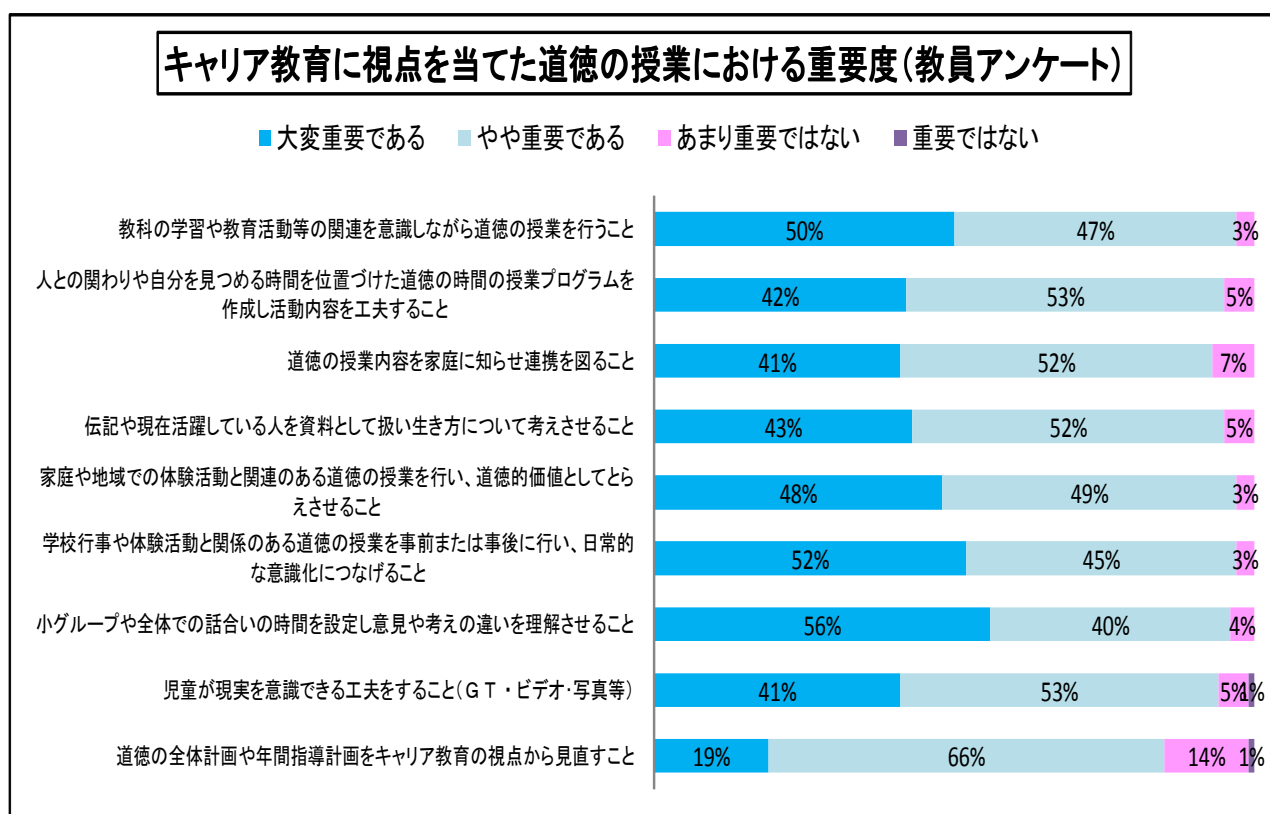


(2) 将来就きたい仕事や夢の有無と道徳の時間の興味・関心とのクロス集計

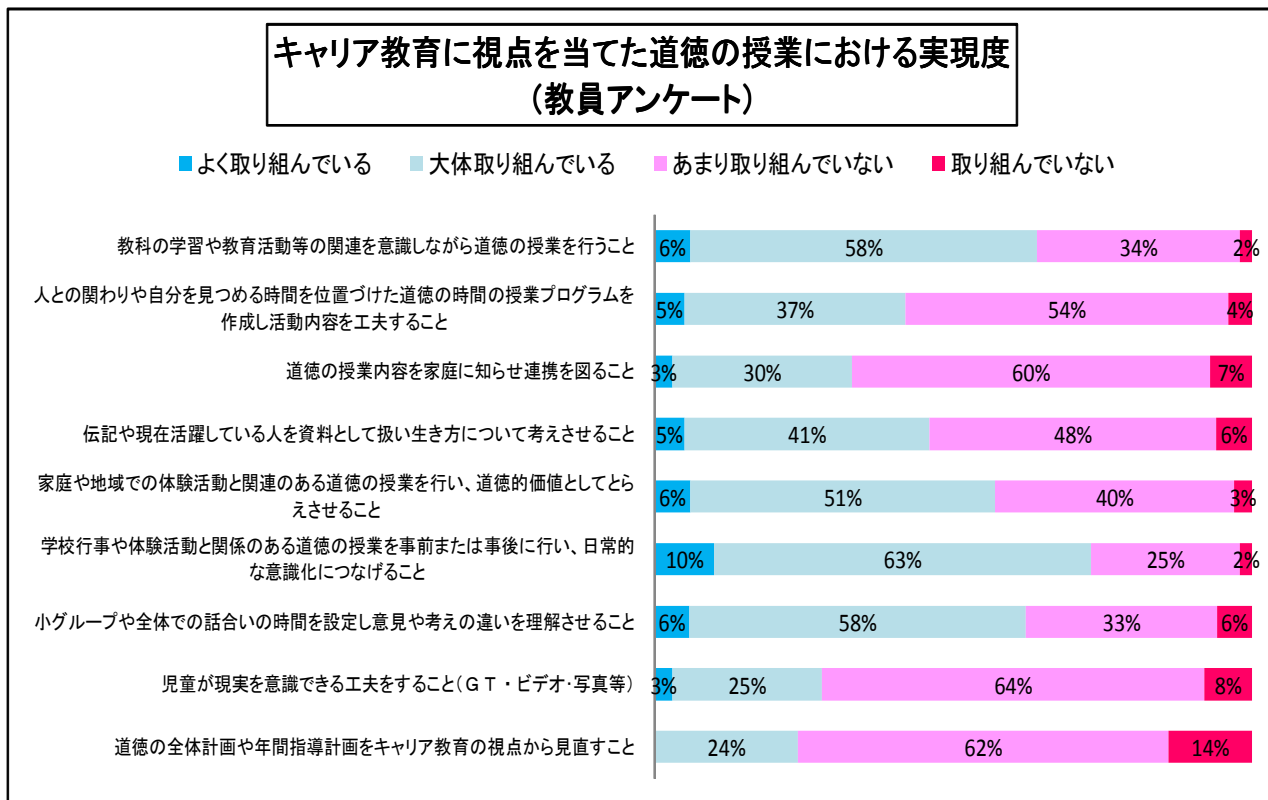
(児童アンケート)

道徳の時間における学習活動	将来就きたい仕事や夢	とても好き	好き	あまり好きではない	きらい	χ ² 値
①ゲストティチャーの話やビデオ・写真などを見ること	ある	419▲**	456	170▽**	26▽**	25.3
	ない	50▽**	88	53▲**	11▲**	
②話し合いを通して友達との意見や考えの違いを知ること	ある	166	511▲**	354▽**	40	23
	ない	28	66▽**	97▲**	13	
③体験したことと関係のある内容を道徳の時間に考えること	ある	225▲**	460▲**	334▽**	52▽**	37.9
	ない	26▽**	58▽**	93▲**	23▲**	
④伝記や今、活躍している人の話を読み、生き方について考えること	ある	366▲**	372	272▽**	61▽**	43.8
	ない	30▽**	68	75▲**	27▲**	
⑤役割演技などをしながら自分や相手の気持ちを考えること	ある	273▲**	400	325▽**	73▽**	36.1
	ない	20▽**	68	84▲**	28▲**	

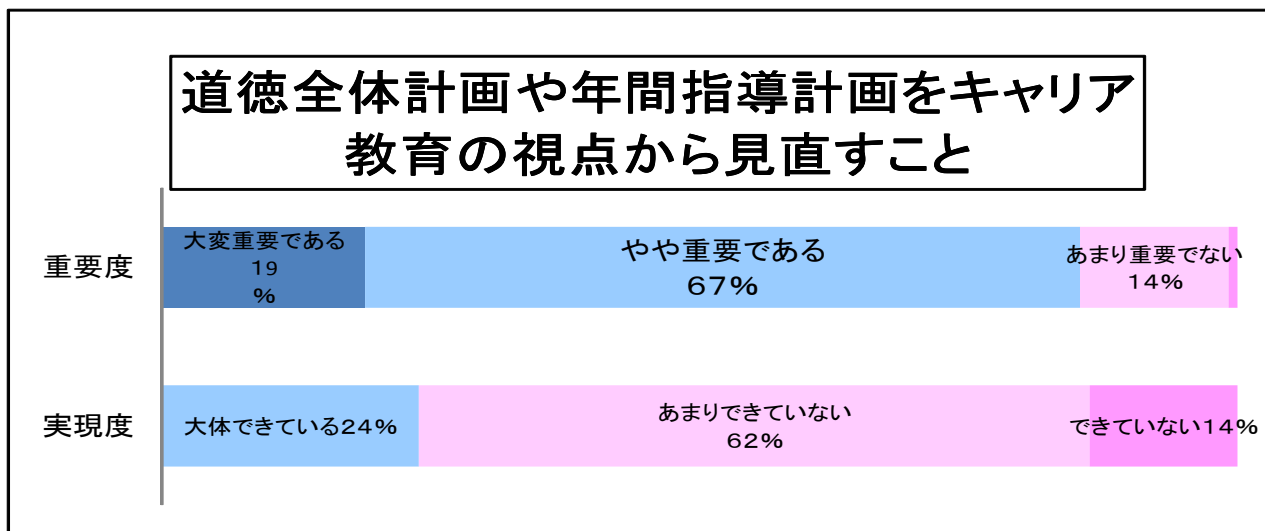
(3) キャリア教育に視点を当てた授業を行う上での重要度(教員アンケート)



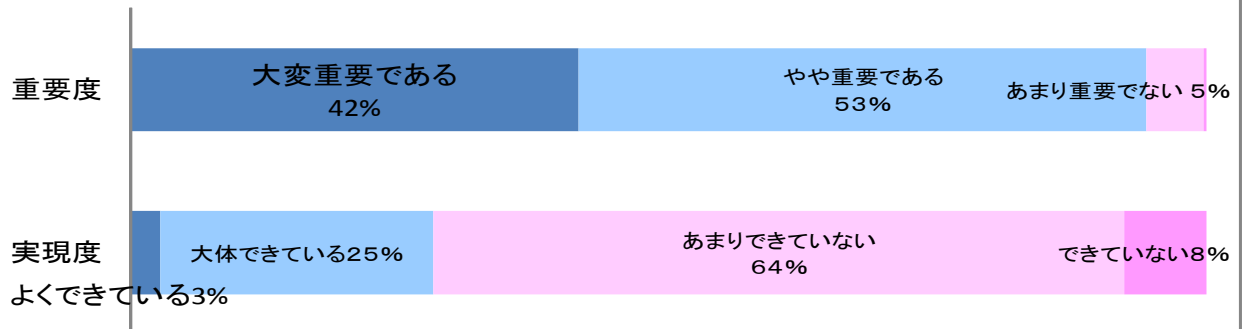
(4) キャリア教育に視点を当てた授業を行う上での実現度 (教員アンケート)



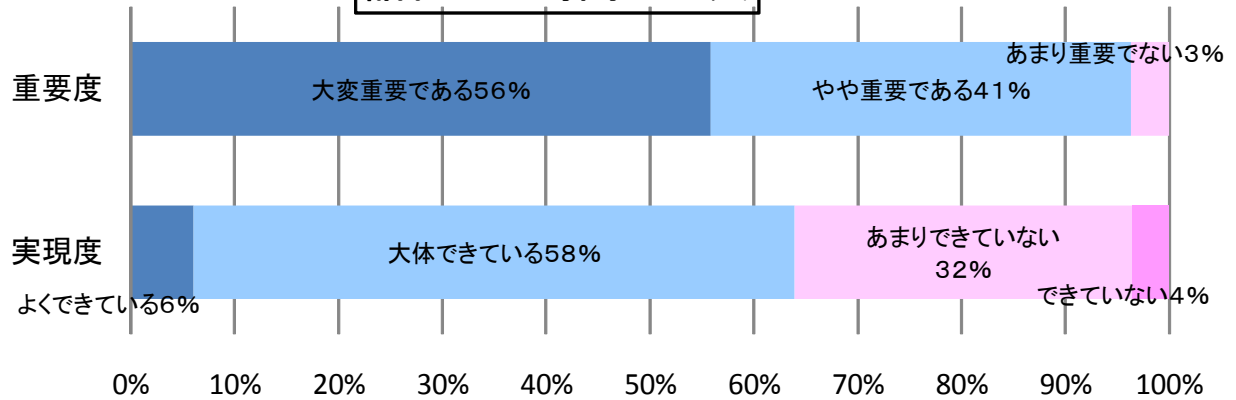
(5) 教員の意識、実現度・重要度の比較 (教員アンケート)



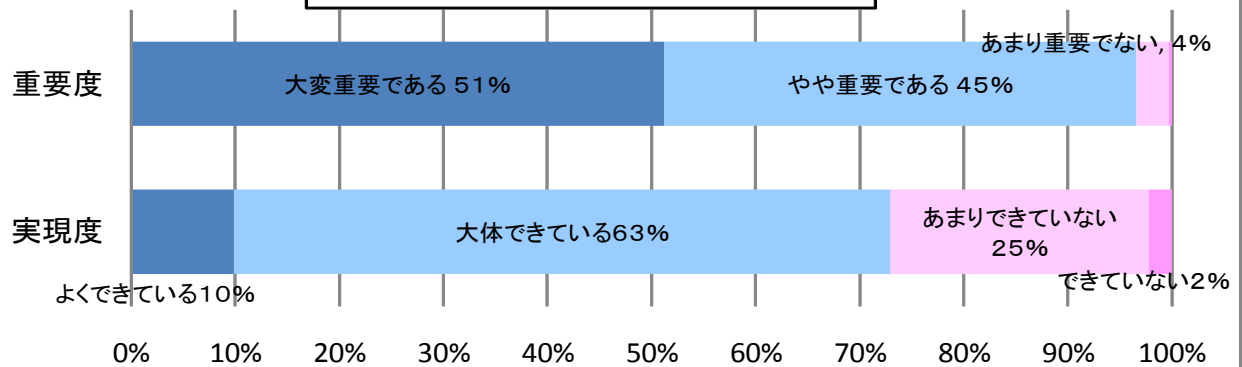
児童が現実を意識できる工夫をすること (外部人材・ビデオ・写真等)



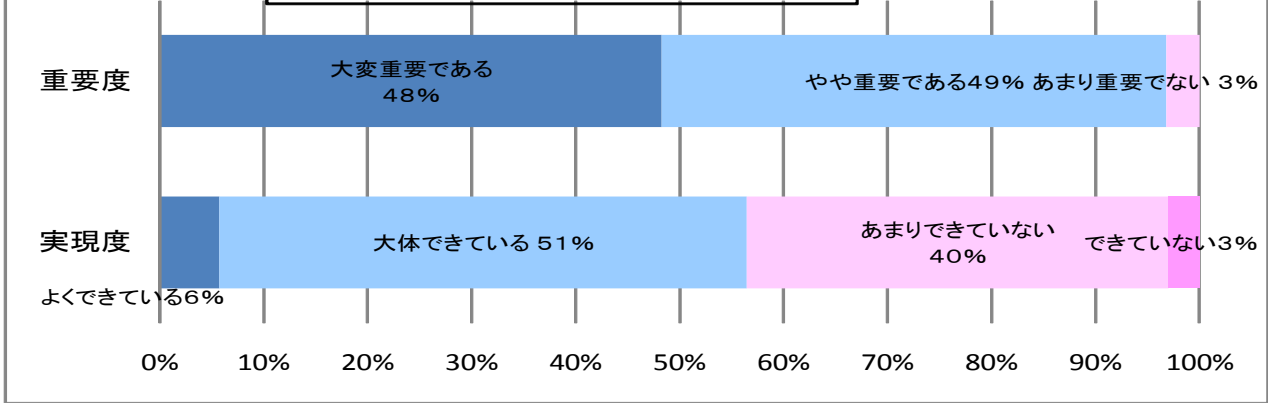
話合いの時間の工夫



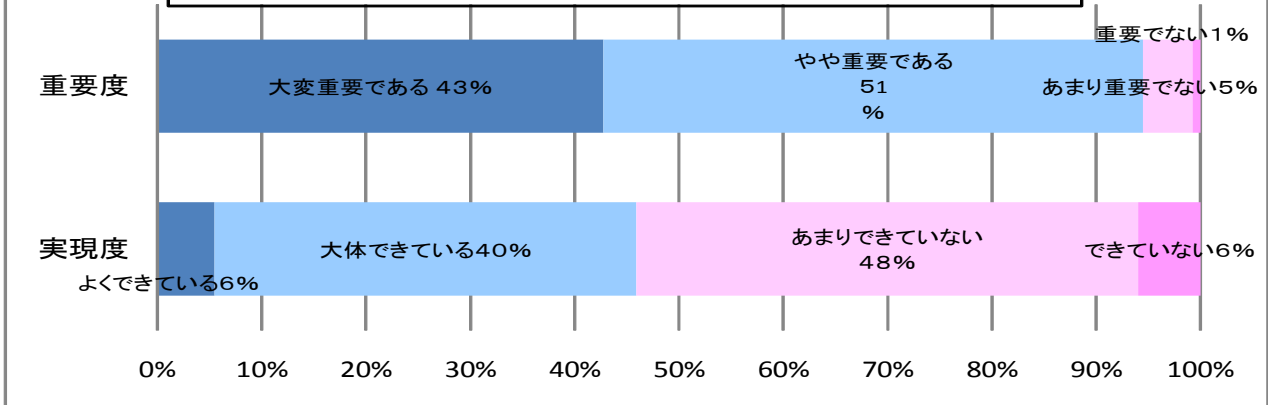
体験活動との関連(学校行事)



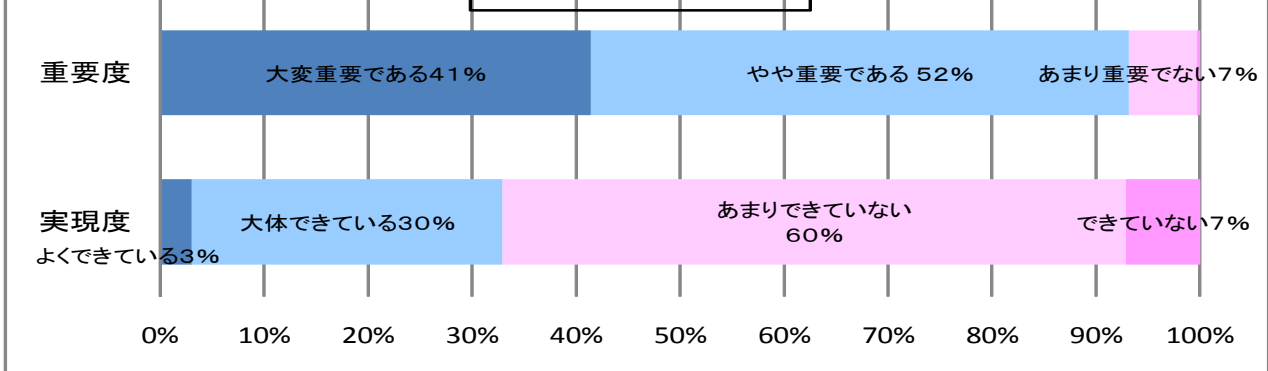
体験活動との関連(家庭・地域)

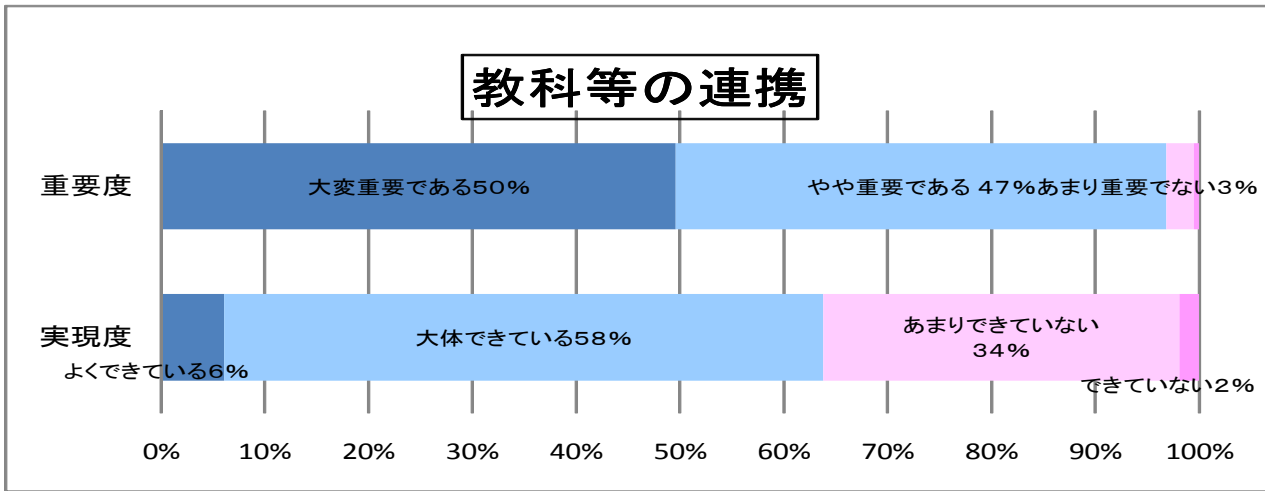
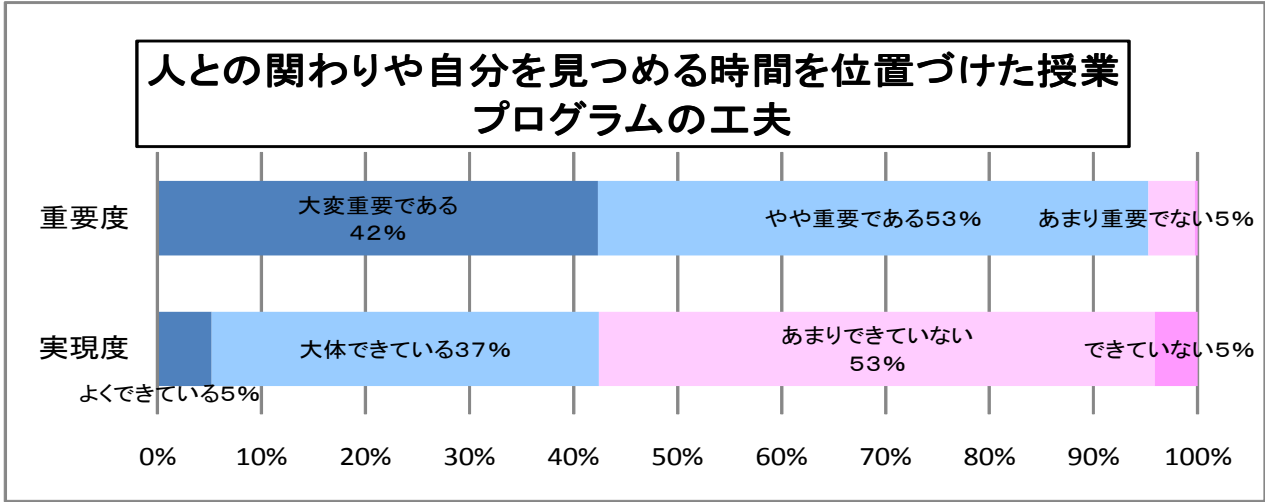


生き方について考えるさせる資料の工夫(伝記等)

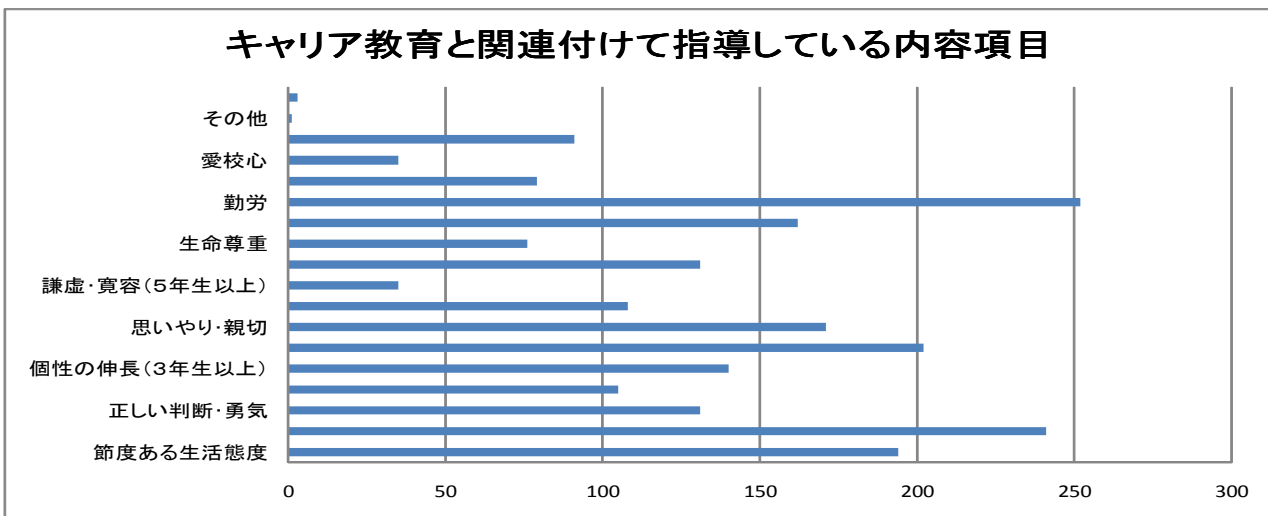


家庭との連携





(6) キャリア教育と関連付けて指導している内容項目 (教員アンケート・複数回答)



(7) 教員の実現度 (教員アンケート) 相関分析

	道徳計画の見直し	現実を意識できる工夫	話合い	学校での体験と関連	家庭や地域との体験と関連	伝記	家庭との連携	役割演技など	教科との関連
道徳計画の見直し	1								
現実を意識できる工夫	0.382	1							
話合い	0.217	0.316	1						
学校での体験と関連	0.245	0.237	0.389	1					
家庭や地域との体験と関連	0.272	0.287	0.276	0.461	1				
伝記	0.248	0.227	0.317	0.253	0.211	1			
家庭との連携	0.176	0.213	0.188	0.270	0.256	0.349	1		
役割演技など	0.188	0.219	0.341	0.306	0.280	0.308	0.376	1	
教科との関連	0.215	0.236	0.306	0.424	0.416	0.295	0.283	0.313	1

Ⅲ 道徳的価値について

(1) 将来就きたい仕事や夢の有無と児童は何から価値を得ているかとのクロス集計

(児童アンケート)

内容項目	将来就きたい仕事や夢	成功体験	失敗体験	友達の体験	テレビ	道徳	χ^2 値
希望・勇気・不とう不屈	ある	505▲*	317	111▽**	88	51	14.14
	ない	76▽*	55	37▲**	21	11	
誠実・明朗	ある	456	269	128	100	119	7.74
	ない	70	50	31	28	21	
個性の伸長	ある	237▲**	523	122	56	133	10.89
	ない	26▽**	106	30	15	23	
思いやり・親切	ある	377▲*	185	204▽*	83	222	9.9
	ない	52▽*	30	51▲*	20	47	
信頼・友情・男女の協力	ある	267▲**	197	222▽*	120	265	12.82
	ない	30▽**	33	55▲*	22	60	
謙虚・寛容	ある	327	263	224	89▽**	168	10.33
	ない	51	50	43	30▲**	26	
尊敬・感謝	ある	525▲**	130	89▽*	114	213	11.54
	ない	77▽**	29	25	31▲*	38	
生命尊重	ある	401	144	64	213	248	3.59
	ない	75	25	19	38	43	
社会的役割の自覚	ある	405▲*	313	171	81▽**	101	9.62
	ない	61▽*	57	48	18▲**	16	
勤労・社会奉仕	ある	415	165	213	135	143	2.52
	ない	66	32	44	29	29	

▲有意に多い ▽有意に少ない **P<.01 *P<.05

資料 3

提言案 1

道徳の時間にキャリア教育の視点を生かす取組

2年

【伝記や現在活躍している人を資料として生き方について考える。
自己の体験との関連、家族とのコミュニケーション活動】

主題名：粘り強く頑張る 1－(2) 勤勉努力

資料名

ぼくは「のび太」でした 『希望を持って』（東京書籍）

本時のねらい

何ごとにも粘り強く努力をして、一生懸命にやり抜こうとする実践意欲を高める。

【展開】

	学習活動と内容	指導上の留意点		
		○配慮事項	◎キャリア教育の視点から見て特に重要なこと	☆評価
導入	1 「ドラえもん」について知っていることを発表する。	○「ドラえもん」に興味をもてるように補助資料として掲示物や漫画・冊数、何カ国で発行されているかなど資料を用意する。		
展開	2 資料「ぼくは『のび太』でした」を読んで話し合う。 ① 藤子・F・不二雄先生はどんなことを考えながら漫画を書いていたのかを考える。 ② 手塚先生と漫画を1ヶ月もかけて描き写した時の藤子先生の気持を考える。 ③ 手塚先生の話聞いた時の藤子先生の気持を考える。 ④ 「ぼくは『のび太』でした」という言葉にどんな思いが込められていくか考える。	○ 漫画を読んで楽しい気持ちになってもらいたいという藤子・F・不二雄先生の気持ちに気付かせる。 ◎ 手塚先生のすばらしい漫画にあこがれ、手塚先生みたいになりたいと頑張り、やり遂げた主人公の気持に共感させる。 ○ 手塚先生から漫画を書くことの大変さを教わった主人公の、驚きと新たにわき上がってきた意欲をとらえるようにする。 ◎ 膨大な量の漫画を描き続けてきた藤子先生の自己を振り返る言葉に込められた気持を考えさせ、がんばり続けることのよさに迫りたい。		
	3 本時の価値に照らして、これまでの自分の生活を振り返って考える。	◎ 最後まであきらめずにやり遂げた体験談を発表し合い、友達のがんばりを知る。 ◎ 自分の願いや夢、希望をかなえるための努力であることを理解できるようにする。		
	終末	4 目標をもち、頑張っている人の話を聞く。	◎ 身近な人（学校の職員、保護者、地域の方）の中にも目標に向かってがんばっている人がいることを知り、今後の実践への意欲付けを図る。	

本実践とキャリア教育

この時期の児童は好きなこと、簡単にできることは行動に移せても、大変なことは、目的がすばらしいことでも避けようとする傾向が見られる。また、意欲的に取り組んでも、困難や障害に行き当たるとかたんにあきらめてしまう面も見られる。

「ドラえもん」は子どもたちに人気の漫画である。日本だけでなく世界中の多くの国で訳され発行されている。作者、藤子・F・不二雄先生の子どもの頃からの様子や思いを考える中で、願いや目標を成し遂げるためには、強い意志と努力の積み重ねがあつて初めてできるものであることを理解させ、児童自身の実践意欲につなげたい。

実践のポイント

- ・ 作者、藤子・F・不二雄先生の人物像を理解することによって、ねらいとる価値に迫ることが主眼となる。藤子・F・不二雄先生に関する様々な情報の提示や説明によって、授業がより深まると考える。
- ・ 授業後は、本時の内容等を通信を通して家庭に知らせ、子どもの頃に描いた夢に向かって努力した話を家族で話し合ってもらおうよう投げかける。
- ・ 他の教育活動との関連・・・生活科「町たんけん」

【コミュニケーション能力 自分のよさ・友だちのよさを知る】

主題名：自分らしさを伸ばす 1-(6)個性伸長

資料名 短所も長所 『ゆたかな心』（光文書院）

本時のねらい 自分の特徴を知り、長所を伸ばしていこうとする意欲を高める。

【展開】

	学習活動と内容	指導上の留意点		
		○配慮事項	◎キャリア教育の視点から見て特に重要なこと	☆評価
導入	1 自分の気に入っているところや、いやだなと思うところのアンケート結果を発表する。（自分の当てはまることに手をあげる。） ・短気 ・やさしい ・わすれっぽい ・最後まであきらめずがんばりぬく	◎事前に行ったアンケート結果を発表する。教師も当てはまることに挙手をする。 ◎自分の短所はすぐ浮かぶが、長所はなかなか出てこないことをアンケート結果から読み取らせる。		
展開	2 資料「短所も長所」を読んで話し合う。 ① 誠が、鈴木さんたちの人物紹介を見た時の気持ちを考える。 ② 誠が、友達からカードをもらった時の気持ちを考える。 ③ 「短所も長所」という言葉について考える。 3 「友達の人物紹介」を書き、話し合う。 ① グループのメンバーの長所をカードに書き、順番に話す。 ・ボール運動が上手。 ・掃除を一生懸命にやる。 ・困っている友達がいると優しく声をかける。	◎友達や自分自身のことをよく見つめることの大切さに気付かせる。 ◎友達とのカード交換によって、自分自身を見つめ直していく誠の気持ちに共感させる。 ◎〈自分の目〉をどのようにまとめようかという誠の思いを予想しながら、長所を伸ばしていくことの大切さに気付かせるとともに「短所も長所」に焦点を当てていく。 ○短所も見方によっては長所にもなるし、長所を伸ばすことによって短所も補うことに気付かせる。 ◎カードを交換し、話し合う活動を通して友達の特徴や自分自身の特徴を意識し、そのよさに気付かせたい。 ○様子を把握し、話合いがうまく行えないグループには、教師が援助する。 ◎友達の発言に対して共感的に、肯定的に受け止められるようにさせる。		
終末	4 友達からもらったカードをもとに、〈自分の目〉をまとめる。	◎友達が見付けてくれた長所を〈自分の目〉としてまとめることにより、長所を伸ばしていこうとする意欲を高めた。 ☆自分のいろいろな長所を知り、それを伸ばしていこうとする意欲を高めたか。		

本実践とキャリア教育

将来の目標に向かって明るく生きていくためには、その根底に自分自身を肯定的に受け止める自信、他者から認められている安心感が必要である。自己肯定感、自尊感情の乏しさは現代の子どもたちに顕著であり、育んでいきたい点である。アンケート結果からも、自分を肯定的に捉えるより、否定的に捉える傾向が強くことが明らかとなった。

「友だちのよところ」をカードに書いたり、話し合う活動を通して、他者理解やコミュニケーション能力を楽しく育てていきたい。また、カードをもとに自分自身を見つめ直していくことにより、自分のよさをどう伸ばしていくかを考えさせたい。

実践のポイント

- ・グループでの話合い活動を通して他者理解や自己肯定感が高め、相互理解を深めることにつなげる。
- ・授業内容を家庭に知らせると共に、子どもを肯定的に捉え励ますこと大切さを伝える。
- ・他の教育活動との関連・・・学習場面、朝の会や帰りの会でよいところを褒め、認め合う取組や「得意技コーナー」など、学年、学級の取組で児童がお互いのよさに気付く事のできる機会を設ける。